

第27号

発行
北九州地区
信徒使徒職協議会
会長 濱 鶴松
編集
北九州信徒協広報部
担当司祭 山元 眞
担当委員 岩本光弘

カトリック
北九州地区
信徒協だより
News Bulletin for Catholic Believers' Association in Kita-Kyushu Area

主な内容

- 1面 シンポジウムのお知らせ
- 2面 北九州信徒協の歩み
- 3面 English Column
- 4面 『Q&A』 寺浜神父
- 5面 司祭紹介・濱会長より
黙想会・共同回心式の
日程
- 6面 ベトナムの信仰
ニュースあれこれ

5/21(土) シンポジウムが開かれます

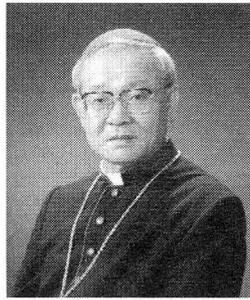
カトリック小倉教会にて 13時30分～16時45分

テーマ

信教の自由と政教分離



日本イエス・キリスト教団
小倉教会
森上洋介牧師



高松教区長
溝部 脩司教



埼玉教区長
谷 大二司教

【実行委員会より】
日本カトリック司教団は、ヨハネ・パウロ二世が広島平和スピーチを行って以来、一貫して戦争責任の問題を取り上げ、平和への決意をメッセージとして述べています。そして2007年に「信教の自由と政教分離に関する司教団メッセージ」を発表しました。その中で、靖国神社をはじめとする信徒の神社参拝を「社会的儀礼」として許容し戦争へ協力

二〇一一年、教皇平和メッセージは「平和への道としての信教の自由」です。その中で「信教の自由は、人間の人格の尊厳そのものに根ざして」あり「宗教は国家が作り出したものではないので国家がそれを操作してはなりません」と述べています。日本では二〇〇八年に列福式が行われました。今回のシンポジウムから殉教者たちのメッセージを学び、現代社会に生きる糧にしてみませんか。

する方向へと向った、と述べています。この中で、信教の自由と政教分離が私たちにどうていかに大切なことであるかを示しています。ところが昨今、再び信教の自由と政教分離を脅かす動きが見え隠れしています。そこで、今一度キリスト者として生きる一人ひとりに学んでほしいとの思いから、全国でシンポジウムを取り組むことになりました。ぜひご参加下さい。

- ◆ ◆ ◆
- ◆ 発題内容予定
- ◆ 溝部司教は「国是と信教の自由」
- ◆ 谷司教は「憲法20条入門」
- ◆ 森上牧師は「神様を無視するこの世の権威」
- ◆ どなたでも参加出来ます。
- ◆ 質問、疑問に答えていただくようにしています。
- ◆ 資料代として三〇〇円。
- ◆ シンポジウム実行委員会事務局 FAX (〇九三―六二―一二九〇)

是非ご参加下さい

【山元神父の呼びかけ】

「政教分離」ということを正しく理解しましょう。なぜか政治と宗教は関係がないと思ったり、宗教は政治に関わるべきではないと誤解されています。これは死活問題なのです。

北九州 信徒協会長が交代します

二〇〇四年から七年間に亘り会長を勤めた濱鶴松さん(黒崎)に代わり、四月から追立泰治さん(行橋)となります。宜しくお願い致します。

司祭団と信徒のみなさんとの懇談会(1月9日)で示されたこれまでの歩み

- 1998年…11月研修会 翌99年1月一泊研修企画
(平田寛神父・川島晋二会長)
- 1998.11月…研修会「北九州の信徒たちへ21世紀へ向けた宣教師の声」
- 1999.1月…一泊研修会「明日の教会に向けて」
- 1999.7月・11月…戸畑にて研修会
「明日の教会に向けて、そのあり方」
→1年間の研修を通じて信徒が自分達の役割について真剣に考え、取組を始めた。
※教区では2000年のカトリックフェスティバルに向けた実行委員会
※地区年末街頭募金総額 1,350,694円
- 2000.4月…従来のソフトボールから親睦レク大会とする。
- 2000.6月～10月…フェスティバルへの取り組み、及び地区研修会を続ける。
- 2001.1月…小教区の現状と問題点を発表しよう。
- 2001.2月…上記を発表しあう。今後の課題として、地区全体の問題として共同研究、活動、司牧の必要性が感じられた。在日外国人についても取り上げられる。
- 2001.7月…これから目指す小教区のあり方研修と分科会。
- 2001.8月…信徒協と正平協の共催による平和ミサと講演会を行なう。
- 2001.11月…研修会にてアンケートを実施
- 2002.1月…アンケート結果を受け、専門委員会設置の検討始まる。(担当司祭と世話人)
- 2002.4月…専門委員会の準備が始まる。
聖書・公文書・青年会・社会問題・広報
その他典礼も検討中。
※教区では75周年の行事を検討
- 2002.5月…司祭の集まりにおいて、信徒協担当司祭が了承される。
- 2002.6月…地区信徒協の広報紙が創刊。専門委員会と担当司祭発表。研修会のまとめや司祭紹介コーナーなど。
- 2002.7月…北九州聖書講座開設に向け、聖書部会が森山神父と準備を始める。
- 2002.11月…親睦レクについて新田原から変更の要望が出される。
共同回式日程等を広報紙に掲載する。
- 2003.2月～…北九州聖書講座開かれる。
※教区では宣教司牧評議会発足に向けて、代

北九州
信徒協

12年間の足あと

表の選出が検討。

- ※世界ではイラク攻撃に向けた戦争の高まりで、平和を求める声が大きくなる。
- 2003.4月…8月の平和旬間の取組を信徒協主催とし、ミサは典礼部会が協力する。
- 2003.11月…国民宿舎で一泊研修。「北九州が一つになって」以下が提案される。
・聖体奉仕者養成 ・信徒による典礼奉仕推進 ・司祭と信徒の定例交流の場 ・倫理諸課題への勉強会 ・地区としての教会学校 カトリック新聞購読の推進
- 2004.5月…濱会長スタート。専門委員会を専門部会とする。
- 2004.9月…「司祭と信徒の話し合いの場を新年会の時に」との提案が平田敬神父よりあり了承される。
教会学校リーダーの北九州地区会要望が出される。その他、青年部会や一日研修会の要望も出され、代表者会議で検討。
- 2005.1月…司祭と信徒の話し合いが実現する。
- 2005.5月…代表者会議年6回を4回に減らす。
部会が活動し始めたことが要因。年間行事を 1.平和の集い 2.親睦レク 3.一日研修 4.司祭との懇談会 この4点を中心とする。
- 2006.4月…信仰育成部会がスタート。
- 2007.4月…典礼部会が発足準備開始。
地区子どものキャンプを司祭団が計画。
- 2008.4月…列福式参加JRについて
※教区全体で司教様への提言、教会への要望を提出。
- 2008.8月…平和の集いを、午前は13教会平和祈願ミサ、午後小倉での集いとする。
- 2009.5月…会議始めの祈り後、公文書解説を少しずつ読み合わせることにする。
- 2009.9月…親睦レク雨のため中止。
- 2010.4月…地区長が山元神父となる。
- 2010.8月…フィリピン人協会が発足する。
- 2010.9月…親睦レク雨のため2年連続中止。
(教区信徒協研修会9/20)
- 2010.11月…典礼研修会が新田原教会で開催。
長崎管区外国人セミナーに小倉、黒崎より多数参加。
- 2011.1月…第9回司祭団と信徒の懇談会開催。
濱会長が3月で任期満了となり、4月から
迫立氏(行橋教会)が新会長と発表される。

Philippine-Japan Association in Kitakyushu

The Philippine-Japan Association in Kitakyushu is inviting all Filipino-Japanese citizens who are residing in Kitakyushu to join in our association.

The Phil.-Jap. Association in Kitakyushu had been organized four years ago it was officially recognized by the Nonprofit Organization in Kitakyushu city last October 2010.

The officers.

- * President Mike Solar
- * Vice Pres. Reynaldo Cacao
- * Secretary Liza Okahara
- * Treasurer MaryAnn Kai
- * Assistant Sect. Rhea Sato
- * Assistant Treasurer Edna Cacao
- * Auditor Wilma Solar
- * PRO Flora Fujishita
- * Assistant Auditor Ruby Kuriaki
- * Membership Committee Anallyn Isobe
- * program and Project Committee Marie Inoue
- * Publication Committee Helen Hamada
- * Social Welfare Alex Furuno
- * Finance and Audit Rose Ann Inari
- * Representatives
- Nelson Calayag, Maria Ogata, Angel Matai, Beth Kawazaki, Juliet Okamura
- * Adviser Mitsuhiro Iwamoto

We are having great time in participating events or parties such as bazaar, Christmas party Valentines party, Hanami and other gatherings.

We have a monthly meeting every fourth Sunday of the month after the the English Mass held at the Catholic Kokura Church.

1-3-1 Kawaraguchi, Kokura Kita-ku, Kitakyushu City Tel (093) 921-0093

For more information, visit our account in Facebook "PHILIPPINE JAPAN ASSOCIATION IN KITAKYUSHU" (philjapinkitakyu@groups.facebook.com) feel free to post or contact us.

If we have of members we can able to request to the Philippine Consulate. To visit and help for a Passport Renewal processing. Our motto is to serve and protect Filipino foreign residents of Kitakyushu.

Join make friends & enjoy your stay here in Kitakyushu.

Please contact Mr. iwamoto
090-8838-8595

北九州フィリピン・日本協会は北九州地域に居住するすべてのフィリピン人を、この組織のメンバーと交流し、このメンバーとなるようお誘いしています。このフィリピン＝日本協会は、4年前に結成されましたが、公的な結成は、昨年2010年の10月でした。

私たち協会は、皆さんが参加できるイベントやパーティーなどたくさん用意しています。(バザー、クリスマスパーティー、バレンタインパーティー、花見や他の催しなど) 毎月、第4日曜日には小倉教会である英語ミサの後にミーティングをしています。もし、参加を望まれるなら、Face Bookで、「PHILIPPINE JAPAN ASSOCIATION IN KITAKYUSHU」とクリックしてみてください。あるいは、直接、我々に会って頂けたらと思います。

私たちは、フィリピン人の色々な相談、旅行や、パスポートの更新手続きの相談に乗っています。我々のモットーは、北九州に居住しているフィリピン人に仕え、フィリピン人を守ることです。北九州で集い、友達になり、みんなで楽しみましょう。



Q&A コーナー

「今の厳しい時代のなかでの信徒の召命」

今回は現代社会を生きる信徒の皆さんの召命について考えていきたいと思います。

まず教会の中で信徒とは何か？

信徒とは

洗礼を受けたキリスト信者の中で叙階や誓願などによって授けられる職位にない方々、つまり司祭や修道者(シスター、ブラザー)などでない信者の方々を信徒といえます。(ですから本当は信徒の方々だけでなく司祭や修道者も信者です、しかし教会内では信者と信徒はほとんど区別なく使われているところが多いです)

次に近年よく耳にする召命とは？

・召命(召し出しとも言われています)とは

神様から使命を与えられることです。聖書のなかには預言者や王などが神様から選ばれて特別な使命を与えられる物語が多くあります。しかし

召命とは目に見える特別な使命を与えられることだけではありません。司祭叙階や修道誓願などだけが召命と思われませんでした。それだけではなくキリスト信者として生きることが召命です。神様から信徒として使命を与えられた召命があります。

今の厳しい時代の中での信徒の召命をどのように生きていくのか、大きな課題です。

キリスト教の少ない日本で、キリスト信者として生きる信徒の皆さんの生活には厳しい現実があります。職場、学校、地域には自分と家族以外にキリスト信者がほとんどいない。また家族の中でも自分ひとりだけがキリスト信者の場合、信徒であつても社会のなかで生きていくためには、時に曜日を問わず仕事があり、学校や地域での行事もあります、家庭でも自分ひとりだけがキリスト信者である場合は自分だけが家族と違うことはできないなど、これらのことは日本にいる信徒の皆さんにとつてはよくあることで、決してめずらしくはありません。外国から日本に来られた信徒の方々も同じです。キリスト信者と

して生活していくために多くの難しい問題があります。

日本でのクリスマスや復活祭のことを考えてみてください。12月25日のクリスマスはほとんど平日です、ですから25日にクリスマスのお祝いに参加することは多くの信徒の方々にはできません。大半の方は24日の夜半ミサに参加し、次の日はいつもどおり仕事や学校があります。聖週間の聖木曜日、聖金曜日、復活徹夜祭の典礼に連続して参加することも同様です。教会のもつとも大切なお祝いのときに教会に行くことができない、皆で一緒にお祈りをするのができない。教会にミサに行くだけが信徒の皆さんの召命ではありませんが、ミサに行く、教会行事に参加する、家庭でお祈りをする。キリスト信者の信仰生活の基本のように思われていることでも、それを行うことが困難な信徒の方々は決して少なくありません。加えてもう20年近く日本の社会は不況・不景気とさらに厳しい状態にあります。信徒の皆さんの生活に直接関りのある大きな問題です。

この厳しい時代のなかで福

音宣教者として社会にあつて特別な使命を果たしていない、イエス様の教えを伝え実践していくことができない。信徒の使命を果たしていない、だから信徒の召命に生きていない、そういうことになるのでしょうか？ そうではありません。

では信徒の方々の召命、キリスト信者としての使命とは、どのようなものなのか？

福岡教区だけでなく日本の教会では司祭・修道者になる人が少なくなってきました。以前は教会に必ず1人主任神父様がいました。しかし司祭の減少で1人の司祭が複数の

教会や様々な役割を担当しています、シスター方の施設が閉鎖されたりと、さびしい現状があります。そういう司祭・修道者の数が減ってきたことで、もつと召命が増えていくようにと教会内で様々なことが取り組まれてきました。司祭・修道者の召命をもつと増やしていこうという取り組みだけでなく、信徒の皆さんの召命をもつと一度考えましようという取り組みも増えてきました。

次回、信徒の方々の召命についてさらに見ていくことにいたしましょう。

(直方、田川教会・寺浜神父)

「グループ紹介」(1)

巻の水教 「ふれあい会」

毎週のミサ後にお茶やコーヒーを出している会です。

この会はミサ後に皆さんが歓談する助けとなるため、お茶を提供するため23年前始まりました。毎週、数人の婦人たちが早くから教会に来てお茶を沸かして準備をしています。この会を始めてから20年以上経過しましたが、ずいぶん

前から効果が出ています。ミサの後に、用があつてすぐに帰る人はいますが、大半の人はコーヒーやお茶に関係なく話をしてから帰ります。最低30分はたくさんの方が残ります。

結構、馬鹿話も多くてあちこちから笑い声があがります。「水巻教会ではミサの後に人が残りますか」と、他の小教区の人から聞かれたことがあります。水巻では、ミサの後は馬鹿話大会が始まります」と答えています。(一)



司祭紹介コーナー

湯川教会 主任司祭

深堀 勝人 神父

1951年2月5日生 60歳 佐賀県伊万里市出身

『司祭談』 1978年4月に司祭に叙階され、司祭生活も丸33年を迎えようとしています。昨年4月湯川教会に赴任し、なんだか25年ぶりに小倉にやって来たような気になりました。

実は8年前、戸畑教会にいたのですから、北九州地区はそんな昔の事ではなかったのですが、25年前は小倉教会にいて、湯川教会は隣の教会として共に歩んでいましたので、なんとなくなつかしく25年ぶりという気持ちになったのだらうと思います。

そして北九州地区の信徒の皆様と出会ったのは北九州納骨堂委員会の総会の折でした。なつかしい顔ぶれにほっとした思いになりました。北九州地区に戻って来たと言う感じでした。また、夏の平和の集い、北九州地区の信徒協の新年会などを通して北九州地区の信徒の皆様のお世話を受けながら、なつかしさと共に楽しいひとときを感謝いたしました。

小倉(6年)、行橋・豊津(4年6ヶ月)、飯塚・田川(5年)、戸畑(3年)と司祭生活をさせていただき、昨年からは湯川の地での司牧生活が始まり、すでに神様のもとに召された人、今も元気で教会に奉仕してくださっている人、まったく(?)知らない人との出会いの中で、良き歩みができることを願っています。まだ、湯川教会と付設の湯川カトリック幼稚園、聖母園(保育園)のことで慣れないことも多く、北九州地区の皆様には失礼していることが多々あると思いますが、高齢者になるまでは元気に頑張りたいと思いますので、神の家族として共に歩むことが出来ますようによろしくをお願いします。

『信徒談』 深堀神父様が湯川教会に赴任されて一年が過ぎました。司祭としての務めだけでなく保育園と幼稚園も担当され忙しくされています。

昨年の暑い夏には、神父様の提案でミサの後にカキ氷を出したりして、私たちのことを気遣ってくれました。

私たち信徒も、どんな小さなことでも出来ることは積極的にいき、神父様と一緒に湯川共同体を支えていきます。

北九州地区信徒使徒職協議会
会長 濱 鶴 松



七年間 おつかれ様でした

1999年1月、自分が在籍する黒崎教会のことさえよく知らないのに「明日の教会に向けて」というテーマで開かれた新田原教会での一泊研修に参加しました。

研修会の内容は司祭の減少による10年後の教会の現状が資料に基づいて説明され、信徒自らも備える必要を求められたものでした。

数カ月後、黒崎教会の会長として私自身が信徒協に参加することとなり、信徒に出来ることは信徒の手でという

方針での活動が続きました。

その後2004年より川島前会長から引継ぎ、会長を7年勤めさせていただきました。2011年度からは迫立新会長の下で信徒協の歩みを進めることになりましたが、12年前の研修会のテーマは今後直面的にいく事態への問いかけとして備える必要に迫られるのではないかと思います。

会長としての7年間支えてくださった皆様のご厚意に心より感謝申し上げます。退任後も信徒協の一員としてともに働かせて頂きますのでよろしくをお願いします。

四旬節共同回心式 黙想会日程

共同回心式日時	教会名	黙想会日程
3/30(水) 11時 19時	小倉	3月5日~6日
4/3(日) 11時30分	水巻	4月2日~3日
4/5(火) 11時 19時30分	行橋	3月20日
4/6(水) 10時30分 19時30分	戸畑	3月23日~24日
4/6(水) 19時30分	豊津	3月19日
4/8(金) 19時	若松	3月26日~27日

共同回心式日時	教会名	黙想会日程
4/12(火) 10時30分 19時	新田原	3月5日~7日
4/13(水) 10時30分 19時30分	湯川	4月11日~12日
4/15(金) 14時 19時30分	直方	4月10日
4/16(土) 10時30分	田川	4月3日
	門司	3月26日~27日
	飯塚	4月10日

